

2014

NPO STARS 事業計画

「次世代のリーダーを目指して～一人ひとりが輝く星になろう！」

NPOSTARSは、わが国の児童福祉界で活躍する資生堂児童福祉海外研修の修了者が集うという“強み”を活かした、知見と実践力を兼ね備えた次世代を担う人材育成をめざす行動集団として、社会貢献することを活動理念とします。

- **特定非営利活動法人 NPO STARS**

Study Tour Abroad Reunion & Research with Shiseido

- **NPO STARS 事務局 蛭雪学園内 事務局長 越川和久**

〒285-0902 千葉県印旛郡酒々井町伊藤 453-3 k-jvz@wa2.so-net.ne.jp

☎ 043-496-4008 Fax 043-496-6196

ホームページ <http://www.npo-stars.or.jp/>

e-mail jimkyoku@npo-stars.or.jp

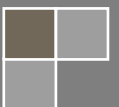
- **公益財団法人 資生堂社会福祉事業財団**

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-5-5 ☎ 03-3574-7408

(公財) 資生堂社会福祉事業財団

ホームページアドレス <http://www.zaidan.shiseido.co.jp/>

2014/04/24



2014年度 事業計画書

2014年 4月 1日から 2015年 3月 31日まで

特定非営利活動法人NPO STARS

1.事業実施の方針

- (1) 子ども家庭福祉向上(児童福祉向上)に係る情報発信や活動取組み効果を高めるため、引き続き公益財団法人資生堂社会福祉事業財団と連携し、活動を推進する。
- (2) 国内に止まらず、広く海外の研究者とも交流し、子ども家庭福祉向上に関する課題の提議や解決策に関する情報発信力強化に注力する。
- (3) NPO STARS 会員一人一人が、我が国における社会的養護の次世代リーダーとして、時代のニーズに即しつつも、斬新で有意義な企画立案と事業を展開する。

2.事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施 予定 日時 | 実施 予定 場所 | 従事者 の予定 人数 | 受益対象者 の範囲及び 予定人数 | 事業費の 予定額 (千円) |
|---|--|--------------------------------------|--|------------------|------------------------|---------------------|
| 子ども家庭福祉向上に向けた提言や調査活動の推進及び情報の発信並びに支援 | 社会的養護における子どもたちへの自立支援 | 2014年 8月1日 ～ 2015年 2月28日 | 群馬県 千葉県 愛知県 埼玉県 滋賀県 宮城県 | 60人 | 240人 | 1,350円 |
| | 第20回 ISPCAN 子ども虐待防止世界大会 (仮)テーマ:『傷ついた子の 回復の為に』 | 2014年 9月14日～ 9月17日 | 愛知県 名古屋市 | 10人 | 150人 | 1,000円 |
| 子ども家庭福祉に関わる活動に従事する施設職員、学術研究者等の知識や技能向上を目的とした研修及び研修支援活動の推進並びに支援 | (公財)資生堂社会福祉事業財団海外研修終了者 第22回 フォローアップセミナー | 2014年 7月5日 | 大阪市 | 20人 | 150人 | 660円 |
| | 里親支援プロジェクト研修 第5回 NeCSTセミナー | 2014年 2月 | 関西地区 (予定) | 20人 | 100人 | 800円 |

3.その他の事業

現時点で事業予定はありません。

1、NPO STARS の理念と活動方針

NPO STARS (Study Tour Abroad Reunion & Research with Shiseido : 資生堂海外研修交流会) は、我が国の児童福祉界で活躍する資生堂児童福祉海外研修修了者が集うという“強み”を活かした、知見と実践力を兼ね備えた、次世代を担うべき人材育成を目指す、行動集団として、社会貢献することを活動理念とします。

グローバルな視点に立脚した、日本における社会的養護の基本的方針は、①家庭的養護の推進、②専門ケアの充実、③自立支援の充実、④家族支援、そして地域支援の充実が掲げられていると、NPO STARS は考えます。

社会的養護の質を担保するためには、その担い手となる施設職員の専門性の向上を図り、計画的に育成するための体制を整備する必要があります。そして、NPO STARS は、特に我が国の喫緊の課題である、日本の社会的養護における、次世代のリーダーになるべき、施設職員の育成を目指します。

NPO STARS は、社会的養護における、種別間を超えた英知が集結した専門集団であるという“強み”を活かし、全ての子ども家庭を視野に入れた地域支援機能の充実強化と全ての社会的養護機関との連携・協働に努め、海外研修等で得た資源を基に保護者支援スキルの開発・普及、支援者としてのスキル向上に努めます。

これらの活動理念に従い、常に公益財団法人資生堂社会福祉事業財団と連携をしながら、2014 年度の事業計画として、以下のように活動していきます。

2、2014 年度活動計画

① 社会的養護における子どもたちへの自立支援

◇事業内容

就職・進学を目前に控えながらも数々の不安を抱える、社会的養護におかれた子ども達への自立支援セミナーとして、(スターターズ・セミナー) 実施する。セミナーの内容としては午前・午後の二部構成とし、午前中は自立して社会人・大人・親になるために、子ども達が抱える不安を減らすための講座・セッションなどを実施。午後は各地域の株式会社資生堂ビューティーコンサルタントの方々による「マナー & メイクアップ講座」を実施する。

◇セミナー開催候補地

愛知県・千葉県・群馬県・埼玉県・滋賀県・その他 (予定)

◇対象児童

施設・里親家庭などで暮らす、社会的養護におかれている児童
原則高校 3 年生を対象とし、講座の内容によって幅を広げる

◇検討事項

- ・経費の大半はスタッフの交通費となるのが現状である。またこの事業は、積極的に動ける STARS 会員地域での開催となる。開催地の会員を中心とした現地スタッフを中心に運営していかなければ、予算内での開催地の拡大は難しい。
- ・代表挨拶・講演スタッフ以外は地元会員が理想であり、それぞれの地域の特性に合わせたユニークな企画・立案が今後の課題である。また、午前中の講演・セッションの企画については、子どものニーズに合わせていくのか、NPO STARS として実施可能なものを提供していくのか。地方によりニーズの違いもある。今年度行った CSP「パパ・ママ講座」はどこでも使える内容である。各地域より内容の希望があれば検討してみてもどうか。



- ・東日本大震災復興支援事業との連携も含めるのであれば、宮城県に関してはNPOの中心スタッフもおらず、会員施設も離れている為、運営及び準備に関しては連携が必要になる。そうすると、宮城開催で通常以上の予算が必要と考えられるため、他の開催地での予算節約が必要となる。

② 第20回 ISPCAN 子ども虐待防止世界大会

◇事業内容

- ・ISPCAN（2014子ども虐待防止世界会議9月14日～17日）の参加について、（公財）資生堂社会福祉事業財団より、NPO STARSに業務委託の予定である。
- ・ISPCANでは、（仮）テーマ：『傷ついた子の回復の為に』～海外研修での学びを活かした施設の取り組み～で検討していく。また、NPO STARSの海外研修の経験と、多職種会員の活動をアピールすべく、シンポジウム形式で参加予定。そらまめガイドの紹介や、パネル展示も検討していく。

◇検討事項

STARS39期を中心に、人材育成局及び事務局で、セミナー発題内容を検討していく。



③ （公財）資生堂社会福祉事業財団海外研修終了者 フォローアップ°セミナー

◇事業内容

- ・次回のフォローアップセミナーについては、7月5日～6日（大阪：予定）にて、開催する。
- ・フォローアップセミナーの内容については、ISPCAN 発題及び東日本大震災支援等とし、39期メンバー・人材育成局・震災支援プロジェクトメンバーを中心に検討していく。

④ 里親支援プロジェクト研修/第5回 NeCSTセミナー

◇事業内容

- ・「子ども中心の社会的養護とは」を共通テーマとしながら、第5回 NeCST セミナーは「子どもにとって必要な養育のために わたしたちにできることは何か ～子どものための地域・施設・里親のパートナーシップのあり方を考える～ II」とする。開催時期 2月上旬(2日間) 開催場所：大阪周辺（予定）
- ・NPOSTARS の特色である、海外の社会的養護の最新の情報と学びから、日本の強み、弱みを考える機会とする。そして、過去の NPOSTARS 海外研修を振り返り、里親や施設、地域とのパートナーシップに関連する研修を行ってきた各期の学びを拾い上げ、その内容を各期に依頼し、整理する。また、2013年度のIFCO大阪世界大会での学びを通して、社会的養護と里親とのパートナーシップをどう組んでいるのか、上手い/下手い事例はなぜか、上手い/下手い事例の検討等、施設側・里親側・行政側、それぞれから意見を統合するセミナーとする。

◇検討事項

里親や里親家庭で暮らす子どもたち（里子・実子）の声等を聞く必要がある。各地域で行われる里親シンポジウムなどの情報を収集し、アルファオフィスやFBで案内し、その内容について事前に調査したかどうか。

3、その他

① NPO STARS 広報プロジェクトより



- ・ホームページ及び広報活動については、なるべく会員の負担を減らし、また予算についても無理のないようにしていきたい。そのためは、NPO STARS の各種事業結果報告を、タイムリーに情報発信していく予定。そのためは、各プロジェクトリーダーがパスワードを持つようにし、ホームページの拡充や書き換えが、各プロジェクトにおいて直接書き換えることができるよう検討していく。その為には、ホームページ書き換えの為のガイドラインを、2014 年度に検討していく。
- ・また、従来の紙ベースによる「STARS」広報紙に代わるものとして、安価で簡単に作れるような広報誌フォーマットを作成する。具体的には、年間 2 ～ 3 回程度の発行とし、基本的には電子データでの配信となるが、郵送も検討したい。

② 東日本大震災復興支援について

- ・自立支援事業（スターターズ・セミナー）と連携し、被災地での自立支援セミナーの開催を検討したい。セミナーの内容については、自立支援セミナーと同じように、午前午後の二部構成とし、社会自立を目前とした被災地の子ども達のニーズ、こうした被災地の社会的養護を支えている里親・施設職員などのニーズに合わせた内容を検討する。午後は「マナー＆メイキャップ講座」を実施。事業予算は 30 万円とし、セミナー開催地は、宮城県仙台市を予定している。



- ・対象者としては、施設・里親家庭などで暮らす、社会的養護におかれている児童とし、原則高校 3 年生を対象。
- ・被災地においては里親さんや施設職員にもメイキャップ等と一緒に参加していただければどうか。また、被災地のニーズを把握するため、被災地の NPO 会員による協力が可能かどうか検討したい。また、現地での事前の打ち合わせ調整や、スタッフの必要経費の確保が課題であるが、次回のフォローアップ研修と連動して実施できるか、2014 年度事業の検討事項としたい。

以上